



Mito City International Association

(公財)水戸市国際交流協会機関紙

第60号

2018.3

第8回友好交流都市重慶市訪問及び 中国文化・行政視察団を派遣しました

2017年11月14日から19日までの6日間、高橋靖水戸市長を団長、木本信太郎水戸市議会副議長を副団長とする総勢16名の親善訪問団が、水戸市の友好交流都市である中華人民共和国の重慶市を訪問しました。

重慶市においては、親善プログラムとして、重慶市内の施設等を視察しました。重慶市企画展覧館（未来館）では、展示パネルやジオラマ、実物大模型や最新のコンピューターテクノロジーを使った映像展示などを通じて、重慶市の都市計画やその未来の姿を垣間見ました。重慶市貿易開発区においては、竹を利用して開発された生活用品や電化製品等の展示ルームや、コーヒー交易センターなどを視察しました。四川外国語大学では、日本語学部の学生たちと意見交換をするなど、交流を行いました。視察を通じて、発展し続ける重慶市の姿を肌で感じるとともに、次世代を担う若い力の生きた姿を目にすることができました。一方で、三峡博物館や磁器口古鎮、洪崖洞、湖広会館などの見学を通じて、重慶の歴史や文化、伝統も知ることができました。

今回は平成23年度の第6回訪問団以来となる、重慶市人民政府への表敬訪問を行いました。劉桂平副市長をはじめとする重慶市関係者の皆さんにお迎えいただき、劉副市長と高橋市長が、それぞれの市の現況を紹介するとともに、親しく懇談をしました。歓迎レセプションにおいては、



重慶市人民政府表敬訪問

心づくしのおもてなしを受けるなど、両市の絆のより一層の深まりを感じました。

今回、重慶市以外の訪問地として、中国歴代王朝の都として、長い歴史を持つ西安を訪れました。秦の始皇帝の兵馬俑坑では、有名な兵馬俑やその広大な発掘現場の様子を、世界中から集まった多くの観光客とともに見ることができました。また、かつて弘法大師空海が留学僧として真言密教を学んだ寺、青龍寺の跡や、西域への旅立ちの起点となった、西安西門の城壁を見学しました。

発展し続ける中国の現在地と、悠久の中国の歴史や文化を感じた訪問となりました。

重慶訪問団～行動の記録～

日 程		
11月14日(火)	水戸市役所発 重慶	羽田空港から重慶へ 重慶泊
11月15日(水)	重慶	重慶市親善プログラム ○重慶市企画展覧館(未来館)視察 ○重慶市貿易開発区視察 ○四川外国語大学視察・交流 ○重慶市人民政府表敬訪問 ○歓迎レセプション
11月16日(木)	重慶	重慶市内視察 ○磁器口古鎮 ○三峡博物館 ○鶴嶺公園
11月17日(金)	重慶 西安	重慶市内視察 ○洪崖洞 ○湖広会館 西安へ移動
11月18日(土)	西安	西安市内視察 ○兵馬俑坑 ○青龍寺 ○西安城壁
11月19日(日)	西安発 水戸市役所着	成田着→水戸へ



四川外国語大学の学生さんの生の声を聞きました。昼食後は元気をつけるためにお昼寝をしてから授業に向かう学生が多く、また午後は図書館の席取りも激しいそうです。勉強熱心ですね。日本語も堪能です！



運行予定のモノレールの実物大シミュレーター。前後の窓には車窓が映し出されます。(重慶市企画展覧館)

竹のキーボード、竹の計算機…。竹フレームの自転車もありました。(重慶市貿易開発区)



重慶の古い町並みを再現しています。(上:磁器口古鎮 下:洪崖洞)



重慶の名物は、重慶火鍋と重慶小麺。こちらは重慶火鍋。辛い汁と辛くない汁で、お好みに応じて具材を煮て食べます。



幡谷 祐一 理事長 逝去のお知らせ

当協会発足以来理事長を務めておりました、アナハイム市名誉市長・幡谷祐一学術博士が、去る平成30年1月11日、逝去いたしました。幡谷理事長は、茨城県国際文化交流協会の会長として、水戸市とアナハイム市との交流の基礎を築きました。その活動が実を結び、両市は国際親善姉妹都市の盟約を締結しました。その後も両市の交流に大きな足跡を残し、その功績を称えて、アナハイム市から名誉市長の称号を贈られています。現在、両市の絆はより一層深まりつつあります。一昨年、両市は盟約締結40周年を迎えましたが、その歩みは常に理事長とともにありました。皆様とともに冥福を祈りたいと思います。

理事長在任中、当協会事業にご理解、ご協力を賜りました全ての方々のご厚誼に心から感謝申し上げますと同時に、今後とも当協会へのご支援をいただけましたら幸いに存じます。



アナハイム市ミト・スクエア内
幡谷祐一名誉市長記念プレート

外国籍児童・生徒のための進路ガイダンス/交流会を実施しました

子ども向け日本語ボランティア「せきれいの会」と当協会は、「青少年健全育成＝高濱正明記念基金」の助成を受け、日本語を第一言語としない児童・生徒と保護者向けに初めて、「進路ガイダンス/交流会」を開催しました。

「せきれいの会」は、水戸市国際交流センターで日本語を教える日本語ボランティア団体で、これまで18年に渡り200人以上の子どもたちの日本語学習に取り組んでいます。

長年、多くの子どもたちと接して気づいたことは、それぞれの持つ事情や環境の中、日本の教育システムがよく分からず、進路や将来に漠然とした不安を抱えているご家庭が多いことでした。

今回、中学と高校の先生をお招きし、日本の教育制度への理解を深めるとともに、子どもたちが自分の将来像を描くための一助となることを願い開催しました。ガイダンスには30人余が参加し、せきれいの会で勉強し高校に進学した生徒の経験談や、進路・高校受験などの相談のほか、参加者同士が互いに交流を深め情報を共有し合える「交流会」が持たれました。

この会を通して、それぞれが様々な選択肢と可能性を秘めていることに気づききっかけになったのではないかと思います。



参加者が多く、進学についての関心の高さがうかがわれました。特に、保護者の方々の我が子に寄せる教育への熱意が、ひしひしと伝わってまいりました。

講師は現役高校教師の杉本健二氏にお願い致しました。易しい日本語で丁寧にご指導をいただき、その上、ご経験を通しての貴重なアドバイスは大変参考となりました。

学習者からは、内容が良く解り、学習への意欲向上になったことや、今後も機会があれば開催してほしいとの声がありました。

せきれいの会代表 茂木 好美さん

《主な内容》

◆進路ガイダンス

- 杉本健二氏(茨城キリスト教学園高等学校国際教育部長)
- 山田朋哉氏(水戸市総合教育研究所指導主事)
- ・高校に行くということは ・高校の種類(公立・私立)
- ・学習課程(全日制、定時制、通信制)
- ・学費について(奨学金制度ほか)
- ・入試について など

- ◆「せきれいの会」卒業生による経験談
茨城県立海洋高等学校 王 新剣さん(中国)

◆交流会

■参加者の声■

通訳がいたのでわかりやすかった。来年もあれば聞きたい。公立高校普通科へ行きたい。(中1・中国)

通訳の方がいいに伝えてくれて、安心した。家族が来られなかったが、資料をいただけで助かりました。公立と私立があること、自分で科を選択することもわかり参考になりました。(中2・ネパール)

外国人市民のための防災ツアーを行いました



平成29年11月26日、「みと男女平等参画を考える会」と「水戸市防災・危機管理課」との協働事業として、外国人のための防災ツアーが行われました。参加者は、子ども2人を含む男女合わせて9名。常磐市民センターと水戸北消防署の2箇所を訪問しました。市の災害避難所に指定されている市民センターでは、地域住民のための身近な防災施設や設備を見学し、いざという時の運営方法について市や地区の防災担当者から詳しい説明を受けました。また消防署では、実物の消防衣服を身につけたり消火器消火作業訓練を行ったりと、消防活動を疑似体験することができ、大人も子供も楽しんだ貴重な体験ツアーとなりました。

良く晴れた、穏やかな秋の一日。事業の締めくくりとして、参加者全員が茨城県立歴史館敷地内の芝生の上にシートを広げ、談笑しながらお弁当を楽しみました。異なる国々の人々が、自国のそれと比較しつつ日本の防災体制を学ぶ良い機会となったのではないのでしょうか。当日温かく迎えて下さった地域サポーターの皆様、ご協力ありがとうございました。



お知らせ

国際交流のつどい

だれでも

★講演「スペインの魅力」(3月3日)

国交樹立150年を迎えるスペインがテーマ。スペイン政府観光局の方に、文化や食、世界遺産など、様々な視点からスペインの魅力をお話いただきました。

国際交流パーティー

大人・子ども

★新春パーティー(1月27日)

外国人参加者による出身国の紹介や、ビンゴゲームなどのレクリエーションを楽しみました。

世界の料理講座

高校生以上

★台湾茶編(3月17日)

特別編として、台湾のお茶とお菓子を楽しみました。

国際理解講座

★ホピングリッシュ講座初級(12月2日) 年長児以上

幼稚園年長児から大人まで一緒に、クリスマス飾りを手作りしながら、楽しく生の英語に触れました。

★ホピングリッシュ講座上級(2月10日) 高校生以上

音楽鑑賞をしながら、アメリカ音楽のルーツについて学びました。

★なるほど!世界セミナー

高校生以上

～なぜ国家は対立するのか

—平和学で見る現在の国際関係—(12月16日)

北朝鮮や中国を巡る情勢を取り上げつつ、平和学の視点から現在の国際関係を読み解きました。

親子の国際講座

親子

(茨城大学ユネスコクラブと共催)

★ようこそユネスコパーク!世界の遊びを楽しもう!(1月21日)

フランス・ミャンマー・ブラジル・韓国について、クイズ形式で楽しく学びました。また、スイスの家庭料理レシユテを作りました。

子どものための国際教育講座

小学生

★Winter Class(12月9日)

クリスマスを中心に、紙工作やゲームをしながら、楽しく英語にふれました。

外国人のための日本体験事業

★外国人のためのスキー教室(2月24日) 大人・子ども

日本の冬山を体験しました。

★外国人のための日本料理教室(2月3日) 高校生以上

寄せ鍋やうぐいすもちを作りました。

ライブラリーイベント

4歳～小学生と保護者

★世界のことばでよみきかせ(3月10日)

日本語と英語で同じ絵本を読み聞かせ、ことばのひびきの違いを楽しみました。

◆水戸市国際交流協会のFacebook

水戸市国際交流協会のFacebookページでは、より多くの人に協会の事業について知ってもらえるように、講座の案内などの情報を発信しています。

水戸市国際交流協会 Facebook

◇機関紙へのご意見や感想をお待ちしています。

開館時間：午前9時から午後9時まで
休館日：月曜日、祝日(土曜日を除く)

〒310-0024 水戸市備前町6-59

水戸市国際交流センター内

(公財)水戸市国際交流協会

Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793

http://www.mito.or.jp/

E-mail:mcia@mito.ne.jp

◇Culture Pot MITO

水戸市に住む外国人のための生活情報紙を英語版・日本語版で発行しています。(年4回発行)

日本語がわからなくても楽しめそうな行事を紹介する「イベント情報」や、それぞれの時期に合わせたホットな情報をまとめた記事等を掲載しています。「Culture Pot MITO」は、

当センターのほか、市関連施設、外国料理店等に置いてあります。また、これまでのバックナンバーは当協会ホームページからカラー版でご覧いただけます。



◇MITOインターナショナルライブラリー

水戸市国際交流センター内に、ライブラリーが開設されました。外国語で書かれた日本に関する本や、日本語で書かれた世界各国に関する本があります。また、ライブラリーを利用したイベントも行います。どうぞご利用ください。

※本の貸出しについては前号(機関紙59号)をご覧ください。

水戸市国際交流センター案内図

Area Map & Transportation Guide

